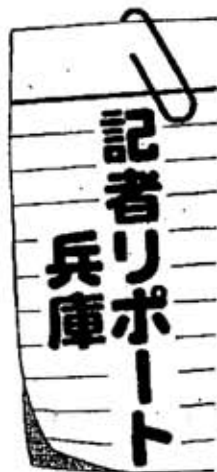


大規模事業続く姫路 ホテル新設ラッシュ



姫路市で来年、ビジネスホテル4軒がオープン予定している。姫路城などの観光地があるうえ、パナソニック子会社「IPSアルファテクノロジ」の液晶コンビナート開業や、「JR姫路駅周辺の区画整理などの大規模事業が数年先まで続き、ビジネス客の需要が予想されるためだ。世界同時不況が懸念される中での新設ラッシュに、既存のホテルは警戒を強めている。

【久野洋】

■デザイン性

ダイワロイヤル(東京)はJR姫路駅近くに「ダイワロイネットホテル姫路」を来春オープンする。約220室。管理職クラスのビジネスマンらを狙って価格を高め設定する予定だが、「シングルでも18平方メートル部屋の広さと新しさで優位性を築きたい」としている。会員客にPRして関西、中国地方の店舗と相乗効果も狙う。

飲食街に近い姫路市二所前町では「ホテルアベストHIMETJI」約

■家族連れにも

幹線道路沿いに位置し、車で入れるロードサイド型ホテルも進出する。繁華街や駅付近にホテルが集中する姫路では

兵庫経済

需要予想 長い目で「プラス」

で、ビジネスマンや旅行者らの取り込みを狙う。ソラーレホテルズアンドリゾーツ(東京都)は来年4月、山陽道に近い姫路市西部の国道2号沿いに「チサンイン姫路夢前橋」(98室)を開く。家族連れにも対応しようと、ダブルやツインに2段ベッドを備えた部屋を半数設ける。

工業地帯が広がる臨海部の国道250号沿いでは、「アストンフラザ姫路」(150室)が来夏のオープンを予定している。液晶工場から車で5分の好立地で、尼崎市にも店舗を持つ京都フラザホテルズが建てる。清水幸雄社長(57)は「今は景気が減速気味ですが、黒字になるとは思わないが、景気は5年10年の周期で変わるもの。尼崎や堺でも液晶工場が進出し、阪神工業地帯が見直されている。長い目で見るとホテル進出はプラスになる」と話す。

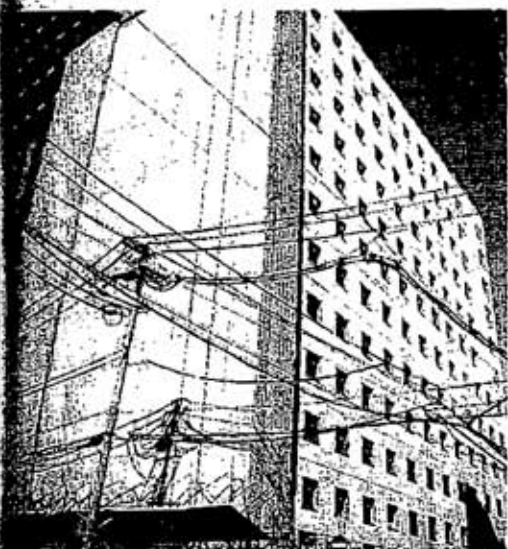
■過当競争に

「30年近くホテル業に携わっているが、このようないきなり進出は初めて

「液晶工場進出による今後の効果は未知数」(木下会長)とするが、景気減速や来年始まる姫

既存施設は警戒感

路城天守閣の大改修による観光客の減少などの不安要素もある。既存のホテルはIPSアルファテクノロジや関連企業などへの営業を進める一方、地元イベント情報をいち早く入手して、主催者や旅行代理店に接触するなどして対抗するといふ。



建設中のビジネスホテル

兵庫経済